

ASMIS P-ND78K0/Win V1.3 制限事項一覧

ASM-98-166

項番	内容
1	Windows98,Windows NTでは動作しません。Windows95,Windows3.1でご使用下さい。
2	PC-9821 V200 (NEC製)では動作しません。 PC-9821 バリュースターシリーズのCPUにMMXを使用しているモデルでは動作しない可能性があります。
3	ASMIS本体のリセットボタンを押すとP-ND78K0/Winの動作が不安定になります。
4	Windows95のPLUS!の「windowの内容を表示したままドラッグする」機能を有効にしている場合、ウインドウサイズを記憶しません。
5	マッピング範囲外にプログラムをロードした場合に警告等は出ません。
6	アセンブラのサブルーチンからはリターンボタンではリターンできません。
7	プログラムロード中カーソルを表示しません。
8	エミュレーションCPUをリセットするにはコマンドWINでRESETコマンドを実行して下さい。
9	SFR WINでSFRの内容を更新させるにはコマンドWINでSRコマンド実行して下さい。
10	レジスタWINで値を変更しても、該当するレジスタバンクの表示が更新されません。 該当するレジスタバンクのレジスタ名をクリックすると値が更新されます。
11	メモリWINでリアルタイムRAMモニタ機能を有効にしているとき、サンプリング範囲外のメモリ空間のデータがFhと表示されます。
12	コードWINでブレークポイントを設定したアドレスでブレークする事があります。 この場合、次に実行させたときにブレークポイントの次の命令でブレークします。
13	コードWINでメモリWINでデータのイニシャライズをした時、以前のデータが表示されています。 表示データをウインドウの外へスクロールさせれば更新します。
14	コードWINでブレークしたときにアセンブラ混在表示になる場合があります。
15	コードWINでアセンブラ入力時にローカルシンボルは使用できません。
16	コードWINでステップ実行している瞬間にウインドウをクリックすると処理に数十秒かかります。
17	スタックWINで不正なデータを表示しています。
18	ブレークWINで実行イベント2を設定すると、表示上は実行イベントは有効になっていますが、実行イベント1ではブレークしなくなります。 また実行イベント1を設定すると実行イベント2が同様になります。実行イベント2は使用しないで下さい。
19	ブレークWINでアクセスイベント設定パネル上で既に設定されているBH1-4(BRA1-4)の設定情報を表示していません。
20	アセンブラWINでローカルシンボルは表示しません。